



駒林小 学校便り

令和3年度
3月号
2月28日発行

感謝の気持ち

校長 西尾 武泰

早いものであつという間に3月になりました。

今年の2月は、雪の日もありましたが、比較的穏やかでしたので、このまま年度末まで過ぎていくことを願っています。この時期は三寒四温と言いますが、横浜でも梅の花が開花し、様々なところで白梅、紅梅を見かけて心が洗われます。新型コロナウイルスは感染拡大をしましたが、これまでこの時期に主流であったインフルエンザやノロウイルスなどは防ぐことができますのでマスクや手洗いの効果をととも感じているところです。学級閉鎖のクラスもありましたが、オンラインで対応し大きな遅れもなく学習を進めることができました。ご家庭でのご協力に感謝しています。

中国では、北京2022冬季オリンピックが開かれ、たくさんの日本選手がメダルを取りました。その度に、そこに至るまでの選手の様々なエピソードが紹介されて、スポーツの裏にある人と人との関わりの大きさを感じました。団体競技に参加した選手は異口同音に「このチームだからやれた。」と仲間と一緒に頑張るのに苦しくても勝利を目指して頑張れたと伝えてくれています。そして、選手を支えたコーチや先輩方の熱い思いや声援を聴いて、100%以上の力を発揮できたこともわかりました。子どもたちの中には、将来スポーツ選手を夢見ている子は少なくありません。夢をかなえることは並大抵の努力では果たせないことをしっかりと見据えて、互いに支えあいながらあきらめることなく夢に向かって前進してほしいと思います。

いよいよ6年生は卒業です。これまでの6年間を振り返り、一人ひとりが家族や友達、地域の方々に支えられて今日まで育ってきたことをしっかりと受け止めて卒業してほしいと思います。そして、これからは、大人への一歩を踏み出す大事な時間です。より良い人間関係を作り成長して欲しいと思います。

この一年間、保護者、地域の皆様には学校へのご協力をいただき、ありがとうございました。子どもは多くの人との触れ合いの中で、よりよい人間関係を築きながら成長していきます。どうぞ、これからも地域の中で育つ子どもたちへ励ましの言葉やお気づきになったことなどの声掛けをお願いいたします。

今年度も本当にお世話になりました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。